



須留が峰



校訓 「自立 協同 創造」
校是 「生きるとは 分かちあうこと」
養父市立養父中学校 学校だより
(令和7年12月5日) 第31号

学校教育目標「しなやかな強さをもち 協働的・創造的に活動できる生徒の育成」

こんな記事と出会いました

毎朝、愛犬（ジャックラッセルテリア：雄16歳）との約40分程度の散歩をした後で、コーヒーを飲みながら新聞やネットニュースなどに目を通すことを日課としています。社会面、政治面、経済面、地域面、国際面、スポーツ面…といろいろな記事を読みますが、それらはすでにテレビやラジオを通じて知っていることの確認となることも少なくありません。しかしながら、以下のような記事は、新聞やネットニュースならではの初めて出会うもの、また、読者に自由に感想を抱くチャンスを与えてくれるものであり私は大好きです。今回は、あえて注釈をつけずに原文をそのまま紹介させていただきます。

“学校行きしなにコンビニ寄って出てきたら小学生4人組がすごく申し訳なさそうな顔して待っていて、聞いたら「車にボールぶつけちゃった。」と。

でも傷が全然なかったし、車両保険も加入できないぐらい古い車だから、「いいし遊びに行き～。」って言ったら、自分のスマホで親を呼んだらしくて10分ぐらいで親も来てしっかりとした謝罪に加えて、警察呼ぶかまで聞いてくれた。

「親がまともだと子どももそれに倣うんやろなあ」とひたすら感心。あと、今の子どもは小4でマイスマ（自分のスマートフォン）を持っているのだなあ。小4の時の自分がこの立場なら、間違いなく何も言わずに逃げると思う。偉いなあ。

「24年落ちの古い車だけど、それなりに大切にしているからボール当てられるのはそりや嫌よ。でも、彼らからしたら見知らぬ人の車だし、声かけるのも相当勇気がいったと思う。勇気出して正直に言ってくれたことと対応の誠実さ（親御さん含め）で怒りなんか吹っ飛んだし、むしろこちらが勉強させられた。」

愛車にボールをぶつけてしまふと小学生4人組から謝罪を受けたことを、AさんがSNS上で報告。愛車は無傷だったものの、小学生の親御さんが駆け付け、謝罪と警察を呼ぶかどうか確認するなど誠実で丁寧な対応に感心したというエピソードに、たくさんのコメントが寄せられ話題を集めました。

「子どもたちの正直さと責任感には感心。親の教育の大切さが表れている。」

「娘もこういう子どもに育ってほしいし、『ちゃんと教育しよう』ってなりました。」

「許す方も許される方も素晴らしいです。」

「小さいのに感心しますね！大人でも逃げる人がいるかもしれないです。Aさんのような方がオーナーさんで良かったです ほっこりしました！」

「子どもたちの正直さと責任感には感心しますね 親の教育の大切さが表れていると思います。今の時代、子どもがスマホを持っているのも驚きですが、それを適切に使っているのも素晴らしいですね。」

「やらかしちゃったことも、誠実に生きてれば後になって良い思い出になるけど、ごまかし続ける人は大人になってもごまかしから逃げてビクビクしながら生きることになる。勇気を持って謝れたことは、彼らにとって必ず財産になるはず。」

多くの人の心をほっこりさせた小学生たちと親御さんの正直で誠実な対応。当時のことを、Aさんに聞きました。



——今回のことは、学校に行く途中だったとのことですが、学生さんですか？

「はい。大学2回生です。」

——愛車にボールをぶつけたと謝罪をしたのは小学生4人組だとか。

「親御さんが来られるまでその子どもたちと話をしていたのですが、そこで小4だと言っていましたね。」

——投稿しようと思ったのは。

「ポスト内でも明言していますが、起こしてしまったことに対する対処というか対応が親御さんを含め初動から完璧すぎて。逆に自分が勉強させられたぐらいだったので、それらに対する驚きが投稿の原動力になったように思います。」

——ボールをぶつけられたとのことでしたが、車のどこの部分だったのでしょうか？

「車の左側、と彼らは言っていたので確認したのですが、左の後部ドアに少し砂がついていたぐらいでそれ以外に気になるところは全くありませんでした。」

——小学生たちとその親御さんから謝罪を受けた時のことをお聞かせください。

「4人の中で1人がスマホで親御さんに電話をしたので、来られたのもその子どものお母様だったと思います。こちらは傷がなかったことも確認していたので最初から警察を呼ぶつもりは毛頭なかったのですが、あちらの方から『警察は呼びますか？』とか、場所がコンビニの駐車場だったこともあり『指導の不行届きであった』とか、いろいろと気を遣っていただきながら陳謝していただきました。」

「一報を受けパートのお仕事を抜けてきたとおっしゃっていたので、なおさらあまり時間も気も使わせてはいけないと思い、そこであらためて『こちらは大丈夫なので、お引き取りください』とお伝えして解散しました。」

——小学生や親御さんたちの対応に、あらためてどう思った？

「とてもうれしい気持ちになりましたね。ボールをぶつけられている側なのですがね（笑）。傷もなかったし、逃げてもバレない状況だったのに、4人全員待ってくれていました。自分がその年齢の時にそれができるか…。逆に自分の日頃の行いを見つめ直す機会になったように思います。」



学校HPの「トピックス」更新が200回を超えました

いつも養父中学校のホームページをご覧いただきありがとうございます。学校の様子等を「トピックス」欄で紹介していますが、11月18日（火）現在、今年度初めからの更新が200回を超えました。生徒からも「いつも見ています。」「どんなことがアップされるか楽しみにしています。」などの声を聞くことがあります。たいへん嬉しく思っています。これからも、養父中学校のホームページは、以下のような願いを持って更新を続けていきますので是非引き続きご覧ください。



- ①生徒の頑張りを知っていただき、良いことは褒めてやってほしい。
- ②教職員の生徒への熱い思いを知っていただきたい。
- ③学校の教育方針を理解していただきたい。
- ④生徒には、母校への愛着や誇りを持ってほしい。
- ⑤各家庭での親子の対話を促進したい。